

佐大医学部と
赤松防災組織

遠隔医療実験に挑戦

赤松公民館から小学校保健室へ患者診る

360度
カメラ駆使
4症例次々に対処

赤松自主防災実践本部は佐大医学部との連携で6月2日、赤松小学校と赤松公民館間で遠隔医療の実験にトライ。災害でけがを負った、倒れて意識を失ったなど4つの症例で赤松小の保健室、運び込まれた患者たちを、たまたま連絡がとれた宮崎県の古川祐太郎医師（実は佐大救急救命医で赤松公民館に待機）が、赤松小保健室に詰めたもう一人の医師や看護師とカメラ越しに情報を交換、診断するという想定で実施しました。

2台のカメラのレンズはともに360度回転し、あらゆる角度から患者が見える優れもので画像も鮮明。保健室に用意されたタブレットに映る古川医師は、赤松小の女医、看護師さんに質問や指示を繰り返して4症例とも的確でスピーディーに診断していきましました。遠隔医療はインターネット創世記から期待されながら、高精度な画像と安定したネット環境を保つ難しさに加え、医師と患者のネット知識



赤松は「タブレットを拡大」

▶タブレット越しに赤松小保健室の患者を診る古川医師（赤枠）。左は症状を伝える看護師さん



▶機材の説明をするリコー社員（左）と、手前は佐大の女性医師



今回、実験に協力していたのはKDDIと佐賀リコーさん。

リコー、KDDIとともに

KDDIは世界中に海底ケーブルを敷設し国際電話を担っていた会社。今はスマートフォン「au」を運営する一方、高速大容量の通信を可能にする「5G第5世代通信規格」の先頭を走る企業です。また今回の実験に必要な動画カメラやタブレットなどの機材を提供していたのは

佐賀リコー。この2つの企業が佐賀大学とタッグを組み、今回の実験につながりました。佐大は災害時に避難所で遠隔診療を行うシステムを目指しプロジェクトチームをつくっており、今回の訓練もその一環。古川医師がそのチームリーダーで今後も「災害関連死ゼロ」を目指し、両企業と組み、赤松を舞台に実験を進めていきます。



購入した大型の自家発電機

停電に備え
自家発電機
携帯トイレも大量に

赤松自主防災実践本部は台風など災害時の停電に備え、ガソリンで動く自家発電機の大型1台、小型2台の計3台を購入しました。助成金を利用してのもので館内の電気やエアコン、避難者のスマホ充電に使用します。大型発電機は11月の鯨の門まつりでステージの音響などに早速活躍。力を発揮しました。

防災本部はまた集中豪雨などで水洗トイレが使えなくなった際に備え、携帯トイレを大量に購入しています。とはいえ公民館の倉庫は既に満杯。安価なものも販売されてるので家庭での備えも呼びかけています。



赤松包む

～思いやる心でつながるふれあいのまち赤松～

第12号

赤松校区社会福祉協議会
赤松まちづくり協議会発行

▼寒い夜も赤松公民館を明るく温かく浮かび上がらせるクリスマスイルミネーション



クリスマスイルミネーション点灯

住民の心いやす

赤松公民館に12月7日、クリスマスイルミネーションが点灯しました。3年目の今回は玄関前のサンタやトナカイに加え、なぞかピカチュウも登場、ベニヤに描いたこれらの作品を丸のこで鮮やかに切り取り、電飾のコードで入り口正面のシンボルツリーの松には色とりどりのLED電球がぐるり。その隣には色鮮やかな光のトンネル。屋根のひさ



▲手分けしてクリスマスイルミネーションの飾りつけをする「まち協メンバー」▼下は美しく点灯したイルミネーション（公民館玄関前）



担当は「わいがや会」

3年前からこの行事を担当するのは「赤松わいがや会」。公民館の呼びかけで30〜40代の若手が集まってアイデアを出し合い、すべて手作りのイルミネーションづくりがスタート。今年度から自治会

動ドライバーなどプロ並みの道具立て。ベニアに描いた雪だるまなどのイラストを丸のこであつという間に切り抜きLED豆電球コードで縁取るなど鮮やかな仕事ぶり。作業の合間も楽しいおしゃべり。今やこの部隊はまち協のエンジン。次はあなたもぜひご参加を！

を待つていよいよ点灯。開夜に公民館の建物全体が美しく浮かび上がり、通りかかった親子連れが「わーきれい！」。作業に携わった全員から一斉にため息が漏れました。寒い夜などにふと寂しさを感じた時、ぜひ見に来てください。癒やされますよ。

会長 福田伸裕 / 副会長 安西幸彦、藤瀬佐多子 / 会計 一ノ瀬成元 / 事務局長 秦 慎一郎
赤松まちづくり協議会役員体制 役員（上）と各専門部会長（下） ☎23-6002
親子ふれあい 佐藤正臣 / げんき 須藤義仁 / あんしん 荒金健次 / まなび 永原光彦 / つながり 秦 慎一郎

大シャボン玉人気 浴衣の夏祭りも検討へ

浴衣の夏祭りも検討へ

浴衣の夏祭りも検討へ

大シャボン玉。子ども

ご協賛いただいた皆様

株)ミズ、(株)中野建設、新道、内野産婦人科、(株)WARP DESIGN WORKS、医療法人 正和会、志田内科、(株)神代薬局、(株)福岡商店、ごくみん共済佐賀推進本部、(株)村山佛光堂、宗龍寺、麵処いっせ、(株)三原建築設計事務所、(株)久保造園・アメックスグループ、はやし歯科クリニック、ゆずりは米穀店、県パチンコ・パチスロ店協同組合、(株)ビジョン(コールセンターと保育園)、(有)川代デント工業、M.DESIGN STUDIO、(株)ミヤタタケン、(有)花古賀、オリジナルプリントウェアラボ、中原優作税理士事務所、(株)サガテレビ、中原胃腸科内科、金武外科肛門科、田中善明司法書士事務所、大橋整骨院、デイサービスあかつ、串揚げ 串焼き一文字、書道用品専門店 楠芳堂、山口耳鼻咽喉科、立正佼成会、ホテルニューオータニ佐賀、深町眼科、草場整形外科、弁護士法人令和 池田法律事務所、(株)鍋島織通吉島、円設計、オガタ理容所、セブンイレブン佐賀水ヶ江店、自動車整備 オート赤坂、Toiro+彩、古賀クリニク、03 Coffee、セブンイレブン佐賀城内2丁目店、栄城薬局、石丸酒店ハットヤ、食堂、吉富勝政土地家屋調査士事務所、ヘアコレクションダック、個別指導Axis(アクシス)、ヘアファッション聖(セント)、杏の樹、家庭料理 小福亭、本庄仏具総本店、Clay Studio indigo、株式会社ウチダ、ホワイト舎クリーニング、今村歯科、石田理容店、渡辺画材、東島歯科、小副川歯科、与賀神社

コロナ明け 本格再開

体育祭4年ぶり

コロナで3年、翌年は雨で中止となった体育祭は10月13日、4年ぶりに開催されました。国スポ・身障者スポが開催と重なったことで



▲4年ぶりの体育祭はパン食い競走(上) 徒歩競走(下)など、どの競技も大賑わい

市長出動、住民と丁寧

市長と直接語り合



市長は赤松に

認知症にとことん優しいまち

太牟田市の取り組みに学ぶ

市先頭に関係機関一丸

▼大牟田市社協で認知症の勉強をした帰り、みんなで立ち寄った道の駅みやま。夕食のお買い物にいそぎました



一昨年11月、校区社協研

護事業者や警察、消防

「長いお別れ」

ピアの会」を設立、そ

ひきこもり、家族ぐるみ支援

筑後市社協の精力的展開！



校区社協今年度の研修

は12月2日、大人になっ

子どもの環境、深刻化の一途

赤松校区の主任児童委員 儀間恒二さんが緊急報告



です。学校での子どもたちは

県内の虐待、5年前の4倍

赤松校区には16人の民生

赤松では住民の通報で無事保護

具体的には

地域の見守り、より重要に

なされたケースがありました。

深刻化の一途をたどる子どもたちの

民生児童委員会	江口佳子（主任児童委員）／副会長 濱野京子（南堀）／会計 後藤美代子（東城内）	社協常任理事	会長 藤瀬佐多子／副会長 福田伸裕、安西幸彦、江口佳子／会計 八田博／庶務 小副川恵美子
	江口尚子、坂井洋子（北水）／倉守みどり、本庄喜代子（南水）／小副川恵美子（東水）／深川謙二（新道）		一ノ瀬成元／栗屋 茂／須藤義人／永原光彦／荒金健次／秦 慎一郎／佐藤正臣／西村 隼子
	田中みどり、杠美穂子（中の館）／市丸康子（東城内）／西村律子（西城内）／池田良恵、井上知子（鬼丸）		赤松公民館 電話 23-6002 館長 栗屋 茂／村岡恵美子、石橋秀城
	福田まろみ（北堀）／荒金健次（与賀町）／儀間恒二（主任児童委員）		

高齢者・子どもの味方！